

Minami Kyushu University Syllabus								
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学部	
科目名称 [英語名称]	体育実技 [Physical Education-Practice]				実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	150510	授業形態	実技	単位数	2	配当学年	1年次	
教員氏名	竹田 展大				学位授与の方針 との関連	DP1(1)(2)・DP3(2)		
授業概要	<p>本講義では様々な種目のスポーツを通して、受講生の技術水準に合わせ一人一人が果たすべき役割や、仲間との協力、パートナーに対するコミュニケーション能力を高めていける授業を創造していきます。</p> <p>また健康の保持・増進や生活習慣病の予防・体力の向上などスポーツの実践によって得られる社会的効果についても考えていきます。スポーツを「する」だけでなく、「観る」「支える」といったスポーツに貢献する文化的な価値についても学習します。</p> <p>そして、様々なスポーツを理解した上で、自らスポーツを実践できる能力を身につけ、生涯心身に健康的な身体作りを目指します。</p>							
関連する科目	保健講義 体育 幼児体育 教科指導法(体育) 保育内容指導法(健康)							
授業の進め方と方法	<p>本講義では、アクティブラーニング型授業を行います。講義の際に学生のレベルが均等になる様グループ分けをし、1～3回ごとに替え、実践を通して常にフィードバックを行いながら練習を進めていきます。</p> <p>「体育実技」という授業であるので、授業における課題の取り組みや学生同士のコミュニケーション、お互いに協力し合う協調性等を養えるよう進めていきます。</p>							
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ①ガイダンス 新体カテスト(握力・上体起こし・立ち幅跳び・反復横跳び・) 授業に関する概要理解および実技における留意点を理解する。 ②新体カテスト(20メートルシヤトルラン・長座体前屈) 自分の体力・身体について理解する。 ③バスケットボール(ルール・歴史・競技特性) ④バスケットボール(ボールハンドリング・シュート・パス) ⑤バスケットボール(ドリブル・コミュニケーションゲーム) ⑥バスケットボール(チーム練習・ゲームの計画、運営・5vs5ゲーム) ⑦バスケットボール(ランキング決定戦) バスケットボール競技の理解およびその楽しみを知る。 ⑧バドミントン(ルール・歴史・競技特性) ⑨バドミントン(基本ストローク・ダブルスの体験) ⑩バドミントン(コンビネーションプレイ・競技の運動強度の学習) ⑪バドミントン(ゲームの計画、運営・ダブルスゲーム) ⑫バドミントン(ゲームの計画、運営・シングルスゲーム) バドミントン競技の理解およびその楽しみを知る。 ⑬ゴルフ(ルールの理解・歴史・競技特性) ⑭ゴルフ(クラブの使い分け・打ちっぱなし) ⑮ゴルフ(グランドゴルフの学習) ゴルフ競技の理解及びその楽しみを知る。 ⑯サッカー(ルール・歴史・競技特性) ⑰サッカー(ボール慣れ・ボールを使わない時の手の使い方・ドリブル・パス・リフティング) ⑱サッカー(グループ戦術の理解・トラップ・シュート・ゲーム) ⑲サッカー(審判法の理解と実践・ミニゲーム・ゲーム) ⑳フットサル(ゲームの計画、運営・ゲーム) サッカー(フットサル)競技の理解およびその楽しみを知る。 21.バレーボール(ルール・歴史・競技特性) 22.バレーボール(基本パス・基本レシーブ・基本アタック・サーブ) 23.バレーボール(フォーメーション・戦術・ミニゲーム) 24.バレーボール(ゲームの計画、運営・ゲーム) 25.バレーボール(ゲームの計画、運営・前回のゲームからの復習・ランキング決定戦) バレーボール競技の理解およびその楽しみを知る。 26.マットスポーツ(歴史・安全確認・マット特性) 27.マットスポーツ(マットを使ったトレーニング・身体動かし運動) 28.マットスポーツ(ミニゲーム・レスリングに触れる) 29.マットスポーツ(マットを使ったトレーニング理論・レスリングゲーム) 30. マットスポーツ(ゲームの計画、運営・レスリングランキング決定戦) マットスポーツ競技の理解およびその楽しみを知る。 <p>※競技については、進行状況により変更する場合あり</p>							
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ①様々なスポーツの実践を通して、それぞれ基本技能を修得し、仲間とのコミュニケーションやチームワークを培うようにする。【態度・志向性】 ②スポーツに積極的に向き合えるようにし、実践を通して基本的ルールや守るべき伝統を理解し規律正しい行動や態度で取り組めるようにする。【知識・理解】 ③スポーツを通し自分に何が足りないかを理解し、目標設定と達成に向けて実践することが出来る。【自己管理能力・生涯学習力】 							
授業時間外の学修	<p>【予習】—各自、その日の体調を考慮し、ストレッチを行ってください。(毎回30分程度) 競技に関するルールや伝統、競技特性などを予習しておいてください。(毎回1時間程度)～計30時間</p> <p>【復習】—生涯スポーツの観点から開講期間中(4月から翌1月)に週1時間30分程度のスポーツ活動してください。～計60時間</p>							
課題に対するフィードバック	授業中に、取り組み・習熟度などについて全体への評価コメントを行う。必要に応じて、個人に対してもアドバイス・評価コメントを行う。	評価方法			<ol style="list-style-type: none"> ①活動意欲—40点 ②授業貢献—30点 ③授業目標達成度—30点 			
テキスト	配布資料による							
参考書	各競技の初回授業時などに必要に応じて参考書を紹介する。							
備考								